

講義名	地域観光政策			授業形態	
担当教員	内山 勝久	開講期・曜日・時間	後期 火曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	3年生

### 主題と概要

この授業は、経済学とまちづくりの観点から観光に関する諸問題を検討することを目的とします。人口が減少する中で地方自治体は地域経済活性化のための対策を模索しています。従来型の企業誘致は人口減少社会では限界があるため、近年では地域資源を活用して観光客を誘致し、賑わいを取り戻そうとする動きが盛んになっています。日本人客だけでなく訪日外国人客（インバウンド客）も増加するなど、観光は社会的にも注目されており、観光政策の重要性も高まっています。授業では、統計などを用いて観光現状を客観的に理解した後、政府や地方自治体が高まる観光政策を単に解説するだけでなく、観光関連産業の動向や企業の行動を経済学の視点から分析したり、観光まちづくりの事例を採り上げたりしながら、観光の現状と今後のありかたを広い視点から学修します。

### 到達目標

自受講生が、  
 (1) 観光に関する諸問題とその背景、観光政策との関連を経済学やまちづくりの観点から理解できるようになること、  
 (2) 観光関連産業や企業の特徴、および現状と課題を理解できるようになること、  
 (3) 観光を通じた地域振興について経済学やまちづくりの知見を活用して自らの意見を表明できるようになること、  
 を目指します。

### 提出課題

・期中に中間レポート課題を提出してもらう予定です。また、期末には期末レポート課題を提出してもらうか、あるいは定期試験期間中に教室での試験（期末テスト）を行います。履修登録者数が少ない場合（おおむね9名以下の場合）は期末レポート課題、多い場合は期末テストとする予定です。いずれも詳細については授業内で説明します。  
 ・ほぼ毎回の授業後にリアクションペーパーを提出してもらうことを予定しています。  
 ・レポート課題や期末テスト、リアクションペーパーでは、授業の理解度を確認したり、授業等で獲得した知識を応用したり、知識を組み合わせて新しい情報を生み出したりする（＝考える）ことを求める予定です。

### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

提出された課題やリアクションペーパーについては、授業内でコメントしたり、授業の内容に反映する予定です。

### 評価の基準

・中間レポート課題40%、期末レポート課題あるいは期末テスト60%の比率で評価します。  
 ・授業内容に関する的確な質問や優れたレポート等に対しては、満点を超過して加点評価します。

### 履修にあたっての注意・助言他

・観光をめぐる諸問題と政策を経済学とまちづくりの観点から学ぶ授業ですので、「経済学入門」や「ミクロ経済学」を履修済みであるなど、経済学の予備知識（需要と供給、需要の価格弾力性などの基礎知識）があることが望ましいです。  
 ・関連する科目に人間社会学部の「観光政策論」があります。  
 ・スマホで授業に無関係なサイトの閲覧に慣れることは他の学生の学修意欲を低下させますので、厳に慎んでください（集中力を維持してください）。  
 ・質問があればスマホを検索するよりも教員に尋ねる方が効果的です（質問力も高まります）。質問等で発言が必要な場合は相手の手で打ってください。  
 ・必要な情報や知識がない、発想が思い浮かばないこともありませんので、得意ではある程度知識の解説が主となります。扱う情報量は多くなるかもしれませんが、自分の意見を形成し、それを支えるための多くの情報や知識を得て理解を深め、考えるための土台や枠組みを身につけたい学生向けの授業になります。情報や知識を暗記する必要はありませんが、新しいことを吸収して視野を広げることに興味のない学生にとっては退屈な授業となるでしょう。

### 教科書

・特定の教科書は使用しません。

### 参考図書

・観光白書	国土交通省				

### その他

・担当教員が作成した資料を使用して授業を進めます。資料（PDFファイル）はキャンパスバスクロス経由で毎回配布します。  
 ・参考図書に収めた「観光白書」は、国土交通省のウェブサイトから資料ダウンロード可能です（<https://www.mlit.go.jp/statistics/file000008.html>）。授業では「令和8年版」（2026年6月頃公表予定）を主に参照する予定ですが、過去の白書を参照することもあります。その都度ウェブサイトを確認してください。  
 ・その他の参考図書は必要に応じて適宜授業中に紹介します。

### 授業計画

第1回	イントロダクション： 授業のねらいや観光政策の経緯について (予題) シラバスをもう一度熟読する。事前配布資料を目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） (復習) 授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（38時間）
第2回	観光をめぐる国内外の動き： 観光の現状と課題 (予題) 事前配布資料を目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） (復習) 授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（38時間）
第3回	観光の経済学(1)： 観光の経済的特徴性 (予題) 事前配布資料を目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） (復習) 授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（38時間）
第4回	観光の経済学(2)： 観光の需要と供給 (予題) 事前配布資料を目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） (復習) 授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（38時間）
第5回	観光の経済学(3)： 観光需要における価格弾力および乗客の非対称性 (予題) 事前配布資料を目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） (復習) 授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（38時間）
第6回	観光の経済学(4)： 観光と地域振興 (予題) 事前配布資料を目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） (復習) 授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（38時間）
第7回	観光政策(1)： 市場の失敗と観光政策 (予題) 事前配布資料を目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） (復習) 授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（38時間）
第8回	観光政策(2)： 観光関連産業の現状と課題・政策 (予題) 事前配布資料を目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） (復習) 授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（38時間）
第9回	観光まちづくり(1)： 観光まちづくりの考え方 (予題) 事前配布資料を目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） (復習) 授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（38時間）
第10回	観光まちづくり(2)： 地域資源の創活用(1) (予題) 事前配布資料を目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） (復習) 授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（38時間）
第11回	観光まちづくり(3)： 地域資源の創活用(2) (予題) 事前配布資料を目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） (復習) 授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（38時間）
第12回	観光まちづくり(4)： 地域の特色を維持する仕組み (予題) 事前配布資料を目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） (復習) 授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（38時間）
第13回	観光まちづくり(5)： 地域経済の活性化 (予題) 事前配布資料を目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） (復習) 授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（38時間）
第14回	観光まちづくり(6)： 観光まちづくりの推進と協力の役割 (予題) 事前配布資料を目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） (復習) 授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（38時間）
第15回	全体のまとめ： 観光の課題と将来 (予題) 事前配布資料を目を通し、授業内容に関するイメージを持っておく（1時間） (復習) 授業内容に関して自分が関心を持ったトピックについて新聞・雑誌・信頼できるウェブサイトなどでより詳しく調べて、自分の問題意識を醸成する（38時間）

### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

この科目の「到達目標」を達成することで、社会的に注目されている観光と地域振興などの現代社会の重要問題を、身近な課題を通じて理解できるようになり、さらに、観光地のコミュニティで生起するさまざまな課題に関して、経済学やまちづくりを基盤とした改善策を提案できるようになります。  
 これは、経済学部経済学科の2年生が履修していただくべき履修・能力である。人間、社会、自然に関するこれまでの学問的成果の基礎を身につけ、現代社会の諸問題を幅広い観点から考察して課題を提案したり、経済学を基盤として、複雑化する地域社会で生起する問題を読み解き、解決策を提案したりすることができる能力が備わることに繋がります。

### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

リアクションペーパーの提出などにクリックカー（レスポンス）を利用する予定です。

### 実務経験の有無及び活用

実務経験なし

### 備考

特になし